

日本空手協会 第66回東海地区空手道選手権大会 開催要綱

[名 称] 日本空手協会 第66回 東海地区空手道選手権大会
公益社団法人日本空手協会
内閣総理大臣杯 第67回全国空手道選手権大会選抜

[日 時] 令和7年6月15日(日) 8時15分 開場(役員8:00開場)
9時00分 役員 審判員集合
9時00分 選手集合
9時30分 開会式
10時00分 試合開始

[会 場] 四日市市総合体育館(緑地) 【別紙会場案内図】

〔住 所〕四日市市日永東1-3-21 〔TEL〕 059-345-4111

[主 催] 日本空手協会 東海地区本部

[主 管] 日本空手協会三重県本部

[協 賛] 公益社団法人日本空手協会総本部

1. 試合種類 形と組手の個人戦

2. 選手区分および各県のエントリー枠

選手区分	性別	形	組手	選手区分	性別	形	組手
① 小学校低学年 (1年生以下)	男女	8	8	⑫ 中学校1年生	男子	8	8
	混合			⑬ 中学校1年生	女子		
② 小学校2年生	男子	8	8	⑭ 中学校2年生	男子	8	8
③ 小学校2年生	女子	8	8	⑮ 中学校2年生	女子	8	8
④ 小学校3年生	男子	8	8	⑯ 中学校3年生	男子	8	8
⑤ 小学校3年生	女子	8	8	⑰ 中学校3年生	女子	8	8
⑥ 小学校4年生	男子	8	8	⑱ 高校生	男子	8	8
⑦ 小学校4年生	女子	8	8	⑲ 高校生	女子	8	8
⑧ 小学校5年生	男子	8	8	⑳ 一般	男子	8	8
⑨ 小学校5年生	女子	8	8	㉑ 一般	女子	8	8
⑩ 小学校6年生	男子	8	8				
⑪ 小学校6年生	女子	8	8				

3. 試合要綱

学年区分	組手試合	形試合
① 小学校低学年 (1年以下男女)	一回戦～決勝戦 基本一本組手 (上段 中段 前蹴) 〈拳サポーター〉	《小学校低学年～2年生》 一回戦～ベスト8 紅白戦 指定形(平安初段～三段) ベスト8による順位決定戦 点数方式自由形(指定形も可)
②③小学校2年生 ④⑤小学校3年生 ⑥⑦小学校4年生 ⑧⑨小学校5年生 ⑩⑪小学校6年生	一回戦～決勝戦 自由組手 (1分30秒間一本勝負) 但し、ベスト8からは 2分間一本勝負 〈拳サポ、マウスピース、胴当〉	《小学校3年生～中学生》 一回戦～ベスト8 紅白戦 指定形(平安初段～鉄騎初段) 《小学校3年生～6年生》 ベスト8による順位決定戦 点数方式 (拔塞大、観空大、慈恩、燕飛、 十手、半月、岩鶴から選択) 《中学生》 ベスト8による順位決定戦 点数方式自由形(指定形を除く)
⑫⑬中学校1年生 ⑭⑮中学校2年生 ⑯⑰中学校3年生	《中学生》 一回戦～決勝戦 自由組手 (2分間一本勝負) 〈拳サポ、マウスピース、胴当〉	《中学生》 ベスト8による順位決定戦 点数方式自由形(指定形を除く)
⑱⑲高校生 ⑳㉑一般	《高校生・一般》 一回戦～決勝戦 自由組手 (2分間一本勝負) 但し、一般男子決勝戦は 5分間三本勝負 (加算方式・先取二本) 《高校生》 〈拳サポ、マウスピース、胴当防具〉 《一般》 〈拳サポ、マウスピース〉	《高校生》 一回戦～ベスト8 紅白戦 指定形(平安二段～鉄騎初段) 《一般》 1回戦～ベスト16まで 紅白戦 指定形(平安二段～鉄騎初段) ベスト16戦は選定形 紅白戦 選定形(拔塞大、観空大、慈恩、燕飛) 《高校生・一般》 ベスト8による順位決定戦 点数方式 自由形(指定形を除く)

組手試合の注意事項

- ① 基本一本組手の攻撃技は右手、右足で行なう。
但し、引き分けの場合は反対側(左手、左足)とする。
- ② 自由組手の引き分けの場合、小・中学生は再試合(先取方式)とし、必ず勝敗を決する。高校・一般においては再試合、再々試合(先取方式)を行ない、再々試合では必ず勝敗を決することとする。

形試合の注意事項 順位決定戦の同得点の取り扱いについて

- ① 同得点の選手が再試合を行う。(本試合と同じ形を行う。)
- ② 再び同得点の場合は、先ず最低点を加点した合計点により優劣を決する。
- ③ なおかつ同得点の場合は、更に最高点を加点した合計点により優劣を決する。
- ④ それでも同得点の場合は、再々試合を行なう(高校・一般のみ、本試合と違う形を行なう)。再々試合では、必ず勝敗を決することとする。
- ◎ 但し、小・中学生においては、②からの適用とする。

※形、組手全種目 試合時は マスク・マウスシールドは無しで統一する。

4. 東海地区本部表彰

形の部	優勝	準優勝	三位	****	
組手の部	優勝	準優勝	三位	三位	
表彰者数	42名	42名	42名	21名	計 147名

5. 審判員への連絡事項

服装

① 長袖の白色ワイシャツ、JKA指定のズボン、ネクタイを着用すること。

② 笛は各審判員で用意すること。

③ JKA指定の審判員ネームプレートを着用すること。

各県審判員派遣のお願い(最少員数 120名 ※コート数は後日連絡となります)

三重県	静岡県	岐阜県	愛知県
30名	35名	30名	25名

当日の審判会議 9時00分開始

6. 選手への連絡事項

自由組手試合の防具について

協会指定拳サポータ、マウスピース(白又は透明)、胴当防具を選手各自で用意し、試合要綱に準拠して着装する。

ゼッケン番号

① 三重県本部が作成し、各県本部事務局に一括送付する。

② 縫い付けるか、テープで貼り付け固定する。安全ピンは使用してはならない。

胸マーク

協会指定の日月マークを空手衣の左胸部に付けること。

傷害保険

出場選手について下記内容で、大会当日1日保険に加入する。

死亡 100万円、通院は1日につき1,000円、入院は1日につき1,500円

※怪我の治療については、選手それぞれの医療保険で対応するものとする。

前回大会の優勝杯を開会式にて返還していただきます(4ページを参照ください)。

7. 提出書類(各県事務局が一括して提出)

メールに添付して提出する書類：①選手エントリー名簿(A・Bシードを各県1名)、②審判員名簿(コート長、副コート長を各県3名)、③大会役員名簿

郵送で提出する書類：県本部長名による誓約書

送付先：勝谷 和久 宛

E-mail アドレス：k.katsuya@biscuit.ocn.ne.jp

TEL 090-2269-1685

申込締切日：令和7年4月15日(火)

【令和5年度 優勝者】

一般男子 形 橋本 有矢(三重県)

組手 太田 真暉(静岡県)

一般女子 形 稲 璃岬(静岡県)

組手 山口 めぐみ(静岡県)